

期間  約定日  受渡日

2026/05/20 から 2026/05/20

今日 今週 今月 今年

照会

商品	実現損益(税引前)	利益金額	損失金額
国内株式(信用) >	-30,527円	31,243円	-61,770円
合計	-30,527円	31,243円	-61,770円

2026.5.20 地合い



今日は録画を忘れてしまった。かなり丁寧に反省しなければいけない日だっただけに悔しい。

A箇所の寄り付き付近の取引で大きくやられてしまい、その後B箇所で取り返そうとした結果、利確幅を広げてしまい損切過多となり、トータルで負けた。今回の敗因は、損切幅を比較的大きく設定した状態でエントリーしてしまったことにある。損切幅を大きくして入るということは、「機会損失を恐れている」ということでもある。まだこの感情を完全には払拭できていない。「エントリーできずに勝てないこと」と、「妥協して、根拠が十分に揃っていない状態で負けること」のどちらを選ぶべきかを考えると、前者を選ばなければならない。機会損失を受け入れる必要がある。2回連続で2千円台の損切が続いた後、3回目の取引では損切幅を広げた妥協エントリーをしてしまった。さらに、利確ラインに到達した後も損切ラインをずらしながら持ち続けるという、甘えた取引をしてしまった。最初に決めた損切ラインをずらししている限り、安定して勝ち続けることはできない。何度も反省しているにもかかわらず、同じことを繰り返してしまっている。そこで大きく負けたことで、「取り返したい」という意識が強くなり、本来ならいつも通り利確すべき場面でも利確できず、結果として損切になり悪循環に陥った。値幅を狙うエントリーではない時は、いつも通り確実に利確すること。負けている時ほど、損切と利確を最初に決めた通りに機械的に実行すること。